



平成 29 年 2 月 1 日
内閣府（防災担当）

民間船舶を用いた要配慮者の受入れ及び医療支援の実証について

1 実証の趣旨

南海トラフ地震を想定し、長期化する避難所生活において健康状態が不安視される要配慮者を民間船舶に受入れ、生活の場を提供するとともに船内で医療支援を行うことについての検証を行う。

2 実証の概要

実施日時	平成 29 年 2 月 5 日（日）12:00～16:20 ※別紙 1 のとおり
実証想定	南海トラフ地震発生後、3 週間程度経過後（慢性期）
実施場所	神戸三宮フェリーターミナル（神戸市中央区新港町 3 番 7 号）及び 民間フェリー（こんぴら 2）船内 ※会場案内図は別紙 2 のとおり、なお実証中フェリーは常に接岸の状態
参加機関	内閣府、国土交通省、兵庫県、神戸市、兵庫県医師会、兵庫県歯科医師会、 兵庫県薬剤師会、兵庫県看護協会、兵庫県歯科衛生士会、兵庫県栄養士会、 神戸旅客船協会、兵庫県立大学、神戸医療福祉専門学校三田校、有識者 等
取材について	実証は取材可能です。 ただし、船内での取材は以下のみ可能です。 ・医療支援の実証（13:35～14:25 メド） ・生活環境の実証（14:25～15:30 メド）
取材時の 留意事項	・取材を希望される場合は、2 月 3 日（金）正午までに別紙 3 にて事前登録 をお願いします。 ・当日は、11:40 までに神戸港新港第 3 突堤内の神戸三宮フェリーターミナル 2 階にお集まりください。 ・取材をされる際には、実証の支障とならないよう現地担当者の指示に従っ てください。特に、船内は多くの参加者で混雑が予想されるので、御協力 をお願いします。 ・取材される方は、社名入りの腕章を着用してください。

<問合せ先>

内閣府政策統括官（防災担当）付

参事官（災害緊急事態対処担当）付 三瀬、池田

TEL : 03-3502-6047（直通） FAX:03-3503-5690

(別紙1)

実証スケジュール

開始時刻 (予定)	実施項目	備考
12:00	開会 参加者への説明	フェリーターミナル2 階にて実施
12:25	運営スタッフ等船内へ移動 機材積込・機材配置	フェリーターミナル2 階乗船口を利用
12:55	模擬要配慮者等(約40名)を船内へ受入 ・受付 ・健康状態確認 ・居室へ案内	フェリーターミナル2 階乗船口を利用
13:35	医療支援の実証 ・医療関係者による回診 ・薬の調剤(モバイルファーマシー) ・容態急変時の対応確認 等	船内各フロアにて実施
14:25	生活環境の実証 ・船内移動体験(浴室・トイレ・食堂) ・給食の提供 等	船内各フロアにて実施
15:40	実証ふりかえり	船内2階にて実施 ※取材不可
16:20	実証終了	

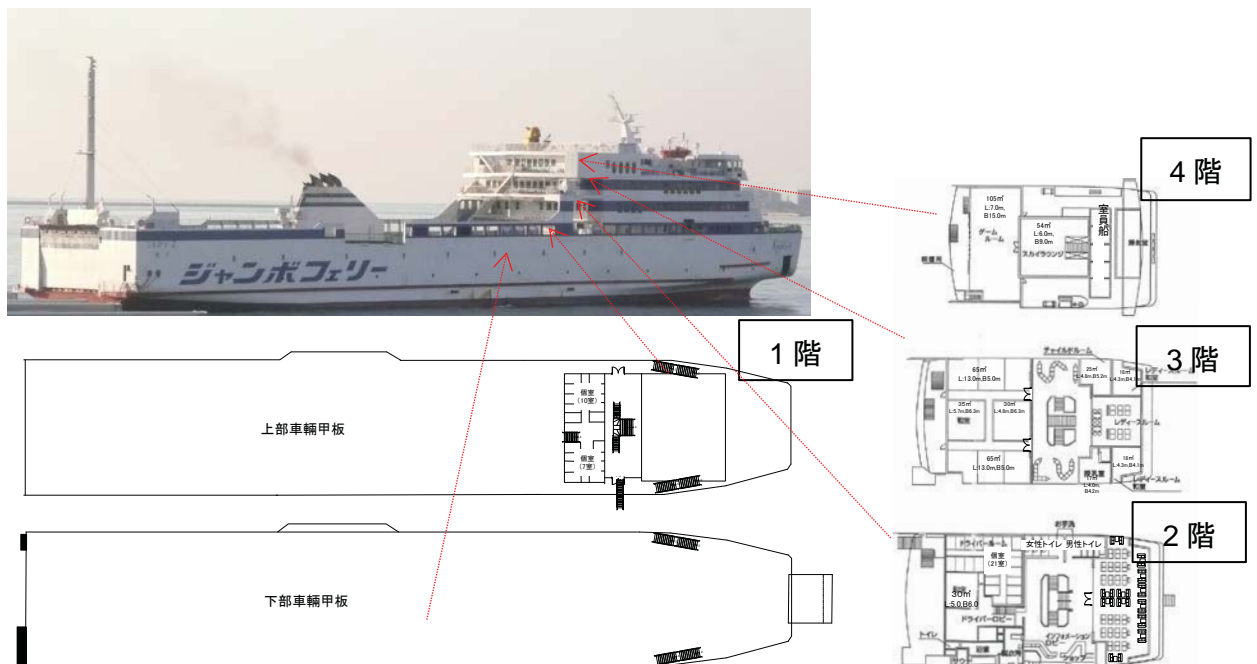
会場案内

〈会場案内図〉会場：神戸港新港第3突堤



〈使用船舶について〉ジャンボフェリー（株）「こんぴら2」

総トン数：3,633t、旅客定員：475名、通常航路：神戸⇄小豆島⇄高松



内閣府(防災担当) 災害緊急事態対処担当 三瀬・池田宛

FAX: 03-3503-5690

民間船舶を用いた要配慮者の受入れ及び医療支援の実証
取材登録票

御 所 属			
取 材 方 法		ムービー・スチール・ペン (該当するものに○をしてください)	
取 材 代 表 者	取 材 代 表 者 氏 名		
	連 絡 先	電 話	
		F A X	
取 材 同 行 者	同 行 者 1 氏 名		
	同 行 者 2 氏 名		
	同 行 者 3 氏 名		
取 材 希 望 施 設			

※登録期限:2月3日(金)正午まで(厳守)